



「人事・賃金制度等の見直し」 1月9日付 主任職以下の「昇格昇給額」の増額を求める！ 「昇格昇給額」に対する東日本ユニオン基本要求进行提出！

【東日本ユニオン基本要件】

★主任職以下の「昇格昇給額」を増額すること。
昇給額は以下のとおりとすること。

係 職 1 等級⇔係 職 2 等級 7,000 円 係 職 2 等級⇔指導職 1 等級 9,000 円
指導職 1 等級⇔指導職 2 等級 8,000 円 指導職 2 等級⇔主任職 1 等級 11,000 円
主任職 1 等級⇔主任職 2 等級 9,000 円

【東日本ユニオンの要求】

区 分	昇格昇給額
係 職 1 等級⇔係 職 2 等級	7,000 円
係 職 2 等級⇔指導職 1 等級	9,000 円
指導職 1 等級⇔指導職 2 等級	8,000 円
指導職 2 等級⇔主任職 1 等級	11,000 円
主任職 1 等級⇔主任職 2 等級	9,000 円

主任職以下も

「昇格昇給額」の増額を要求！

【会社提案】

区 分	昇格昇給額	増 額 分
係 職 1 等級⇔係 職 2 等級	5,000 円	増額なし
係 職 2 等級⇔指導職 1 等級	7,000 円	
指導職 1 等級⇔指導職 2 等級	6,000 円	
指導職 2 等級⇔主任職 1 等級	9,000 円	
主任職 1 等級⇔主任職 2 等級	7,000 円	
主任職 2 等級⇔主務職	9,000 円	+4,000 円
主務職⇔主幹職 B (TL 職 B)	17,000 円	+11,000 円
主幹職 B (TL 職 B) ⇔主幹職 A (TL 職 A)	18,000 円	+7,000 円

それぞれの職責に役割がある！賃金格差の拡大は認められない！

- ・「昇格昇給額」が主務職以上だけ増額することは平等ではない。それぞれの職責に役割もあり、主任職以下も増額するべきである。賃金格差の拡大は認められない。
- ・「人材育成を担う層を厚くする」の説明は「成長を遂げた側を評価しない」という矛盾を孕んでいる。
- ・賃金格差の拡大はモチベーションの低下や離職を招く。
- ・賃金カーブが現行よりも「さらに緩やか」になっている中で、主任職以下も増額するべきである。主任職以下の社員はこれからの会社を支え、基礎となる世代・職種である。
- ・主任職以下の段階で賃金水準が抑えられると、その後の職制でも賃金水準が累積的に低い位置で固定されてしまう。その結果、長期的な賃金格差・生活格差を拡大させる要因となる。